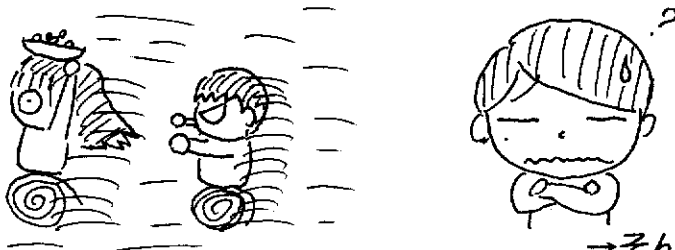
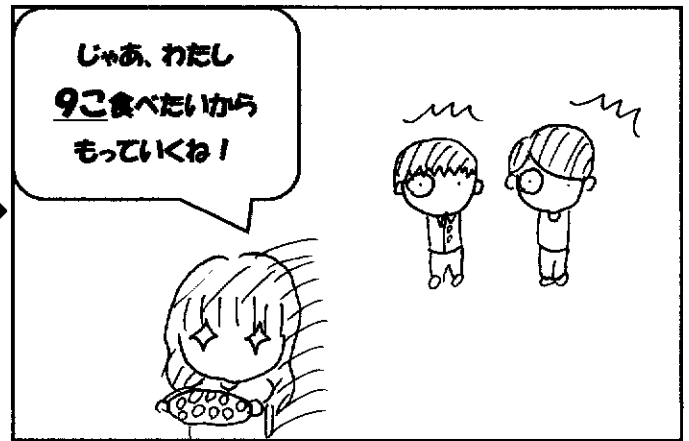
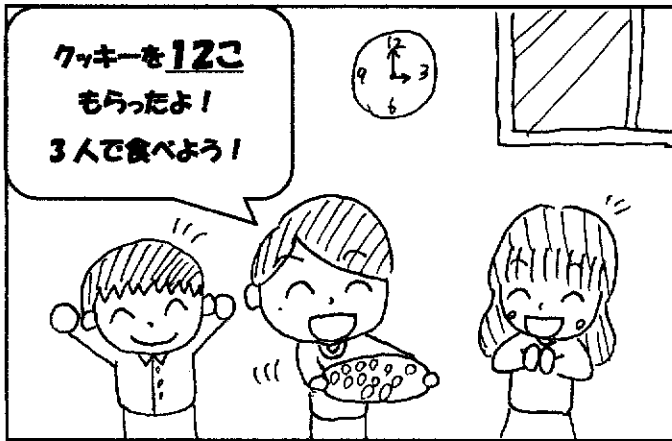


わり算-① (教科書 34~36 ページ)

() 組 名前 ()

めあて **新しい計算のしかたを考えよう。**

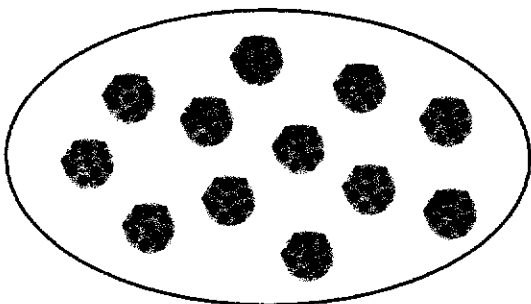
?①こんなとき、どうすればよいですか?



なかなかわけるとは、**同じ数ずつわけないと**いけません。でもそんな計算できるの?

→そんなとき、使えるのが **「わり算」** です。

!①同じ数ずつ、お皿にのせてあげましょう。



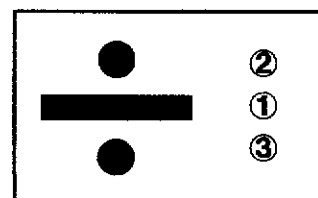
まずは**1こずつ**お皿にのせてみよう!

1人分は何こに当たった? → ()こ

12このクッキーを、3人で同じ数ずつ分けると、1人分は4こになります。このことを式で、次のように書きます。

$$12 \div 3 = 4$$

「十二 わる 三 は 四」



わり算②のプリントは
全部で 2 枚です。

わり算-② (教科書 37~38 ページ)

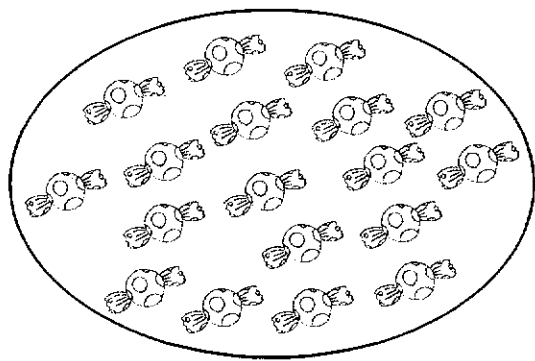
() 組 名前 ()

めあて **わり算のときかたを考えよう。**

! ①教科書 37 ページの問題 1 をときましょう。

あめが 18 こあります。6 人で同じ数ずつ分けます。1 人分は何こになりますか。

☆図を使って考えよう。



Six empty vertical rectangular boxes for dividing the candies.



まずは 1 こずつ
お皿にのせてみよう!

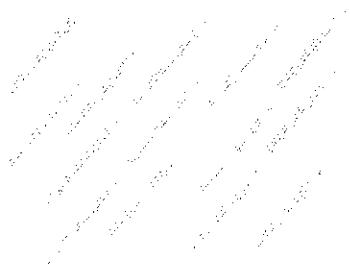
答え: () こ

☆式を書こう。

式 _____

! ②教科書 37 ページの問題 2 をときましょう。

14 本のえんぴつを、2 人で同じ数ずつ分けると、1 人分は何本になりますか。
おはじきを使って答えをもとめ、式を書きましょう。



Two empty square boxes for dividing the pencils.



おはじきのかわりに、この図を使ったり、
算数ブロックを使ったりしても良いです。

答え: () 本

☆式を書こう。

式 _____

①次の問題のときかたを考えましょう。

ゼリーが20こあります。5人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになりますか。

☆式を書こう(※答えはまだ書かなくてよいです)。

式 _____

◎ここで、算数がんばりすぎてつかれてしまった川畑先生は、こう思いました・・・。

もう図やブロックを使って考えるのは
つかれちゃった!!



もっと早く計算ができれば
いいのに!!

◎というわけで、今書いたわり算の式に注目してみましょう。

$$20 \div 5 = \square$$



全部の数 ÷ 人数 = 1人分の数

- ・ 式を言葉にするとこのように表すことができますね。ここまではわかりますか？
それでは、しつもんです。「全部の数」をもとめるためには、どんな式にすればよいですか？

1人分の数 () 人数 = 全部の数

※ヒント… () の中には、+、-、×、÷のどれかが入ります。

- ・ では、今作った言葉の式に、数字をあてはめてみましょう。きょうこうなるはずです。

$$\square \times 5 = 20$$

- ・ これで何かに気付いた人、すばらしい。この計算は、**5のだんの九九**を使えばできそうです。
つまり、**20 ÷ 5の答えは、 $\square \times 5 = 20$ の□に入る数**です。
では、**わり算の式と答え**を書いてみましょう。

式： _____

答え： (_____) こ



わり算の答えは、九九やかけ算のきまりを使って
もとめることができるんだね！
教科書38ページの問題3、4も、
このやり方を使ってやってみよう！
(古いノートなどを使いましょう。)

わり算-③ (教科書 39~40 ページ)

() 組 名前 ()

めあて **何人に分けられるかを考えよう。**

?①今までの問題とちがうところはどこでしょう。

パイが 12 こあります。1 人に 3 こずつ分けると、何人に分けられますか。

ちがうところは? () ところ)

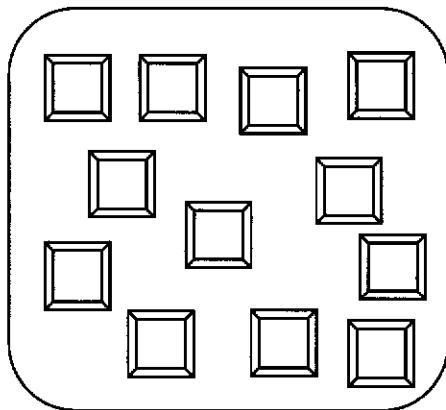


え?同じじゃない?

よく見て!今までは「1人分」を
もとめていたけど、今回は…?



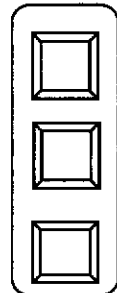
☆どんな計算が使えるか、図で考えよう。



全部の数
12こ



※図をかきましょう。



1人分の数
3こ



このお皿が
あと何こつくれるかな?

答え:() 人に分けられる。

12このパイを、1人に3こずつ分けると、
4人に分けられます。
このことも、わり算の式で、次のように書きます。

$$12 \div 3 = 4$$

12÷3の式で、12をわられる数といい、3をわる数といいます。

$$\begin{array}{ccc} 12 & \div & 3 \\ \text{わられる数} & & \text{わる数} \end{array}$$

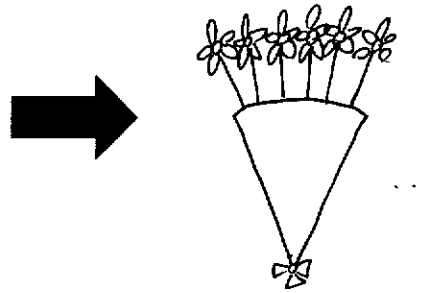
わり算-④ (教科書 41 ページ)

() 組 名前 ()

めあて ③で学習したわり算を使いこなそう。

! ①教科書の問題 1, 2 をときましょう。

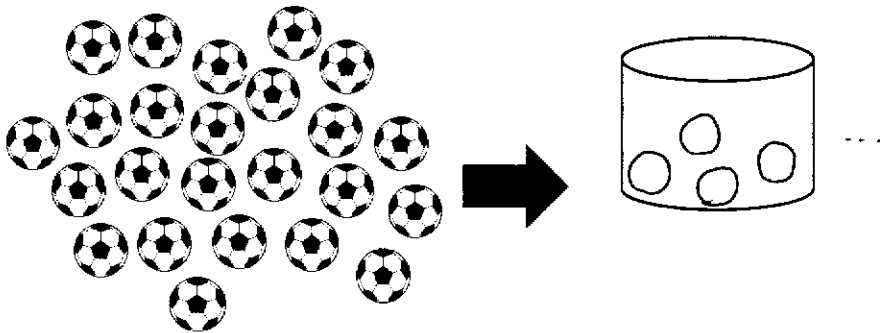
1 花が 18 本あります。6 本ずつたばにして花たばを作ります。
花たばはいくつできますか。



式: _____

答え: () つ

2 24 このボールを4こずつかごに入れると、かごはいくついらいますか。



式: _____

答え: () つ

わり算-⑤ (教科書 41~42 ページ)

() 組 名前 ()

めあて **学習したことを使って問題をとこう。**

! ①次の問題のときかたを考えましょう。(教科書 41 ページの問題②)

カードが 20 まいあります。1 人に 5 まいずつ分けると、何人に分けられますか。

◎川畑先生は思いました… 3 年生のみんななら、もう気付いているのではないかと。

そう、「**図を使わなくても、もっと早く計算できるよね?**」と。そうです。その通りなのです。わり算-②のプリントで学習したことを思い出して、やってみましょう。

このようすと、式は「 $20 \div 5$ 」になりそうですね。では、そこから考えましょう。

$$20 \div 5 = \square$$



全部の数 ÷ 1 人分の数 = 人数

・言葉の式にするとこうなりますね。

・それでは、この前と同じように…「**全部の数**」をもとめるには、どんな式にしますか?

1 人分の数 () 人数 = 全部の数

※ヒント… () の中には、+、-、×、÷のどれかが入ります。

・では、この言葉の式に数字をあてはめてみましょう。

$$5 \times \square = 20$$

・これもやはり、5のだんの九九を使えばできそうです。

わり算の式と答えを書いてみましょう。

式： _____

答え：(_____) 人



「1 人分の数」をもとめるときでも、
「人数」や「いくつ」をもとめるときでも、
わり算であれば九九やかけ算のきまりを使って
計算できることがわかったかな?